



〒892-0841 鹿兒島市照国町13-42  
カトリック鹿兒島教区  
電話099 (226) 5100  
振込口座 02030-2-8359  
編集発行人 竹山 昭  
1部60円年間〒共1100円

教会のこよみ	
2日	年間第八主日
5日	灰の水曜日 (大斎・小斎)
9日	四旬節第一主日
16日	四旬節第二主日
19日	聖ヨセフ
23日	四旬節第三主日
25日	神のお告げ
30日	四旬節第四主日

## おめでとう！田原神父様 司祭叙階50周年を迎える



### 喜びの兄弟も

### ブラジルから来鹿

司祭大会最終日の一月三十日(木)午後二時から鹿兒島カテドラルで、来たる三月十七日に司祭叙階五十周年(金祝)を迎える田原章神父(七十六歳)の金祝感謝ミサがささげられた。聖堂には大勢の信徒に混じって神父が園長を務める聖母幼稚園児やその父兄と関係者、またブラジルに移り住んだ田原神父一家の六人の兄弟らの姿があった。

ドミニコ田原章神父(鴨池教会主任司祭)は、要次郎・チヨ夫妻の長男として一九二七年一月二日、長崎県玉之浦町に生まれた。司祭の聖位に上げられ

## 【視点】

今日五日、灰の水曜日をもちて四旬節が始まる。四旬節は、求道者にとっては洗礼準備のとき、そして信者にとっては洗礼を受けた時の初心に帰る季節であり、聖なるいのちを豊かに高めて主の死の神秘と復活の喜びにあずかるときである。

わたしたちは聖性に召されている。「わたしは聖なる者である。あなたがたも聖なる者となりなさい」(レビ二一の一四四、一ペトロ一の一六)。洗礼によつて聖なるいのちに召されたわたしたちは、「道、真理、いのちである」(ヨハネ一四の六)

キリストに従い、またキリストのエネルギーである聖霊の力により「キリスト化」されて、神と隣人に対する愛のために死に至るまで自らを与え、聖性に達しなければならぬ。

キリストの良心は鋭敏になり、神のみ心にふさわしくない自分を発見することになるからである。四旬節は初心復帰のときであると同時に回心のときなのである。

したがって、四旬節を有意義にするには、自分の信仰生活を見直し、自分の信仰生活を念入りに見直すことが大切になる。教区では、「信徒のための信仰生活指針」なるものを小冊子にして配付した。この小冊子は自分の信仰生活を見直すための格好の助けとなるであ

### ●03教区目標《聖性への信徒の召命》

### 四旬節は聖性への一里塚

わたしたちは洗礼と堅信の時の初心に帰る。毎年の四旬節におけるこの初心復帰には、一年間の信仰体験によつて得た新しい発見や喜びとともに、新たな罪の意識が加わるかもしれない。信仰が深まれば深まるだけ、キリ

に過ごすためには、自分の信仰生活を念入りに見直すことが大切になる。教区では、「信徒のための信仰生活指針」なるものを小冊子にして配付した。この小冊子は自分の信仰生活を見直すための格好の助けとなるであ



①幼稚園児から記念品を受け取る田原神父  
②ブラジルから駆けつけた兄弟たち

池、名瀬聖心の主任司祭を務め、一九七六年からは教区事務所長、また翌年から司教総代理を務めている。その後垂水、紫原教会の主任司祭を歴任、一九九三年から現在まで鴨池教会主任司祭として働いている。

「幼い頃、鹿兒島で宣教再開のため働いた島田喜蔵神父と出会ったことに、鹿兒島との縁を感じる」と言う田原神父は、一九五四年七月にブラジルに移り住んだ家族を港で見送り、一人鹿兒島に残った。「自分が働く場所は鹿兒島なのだと感じ取っていたからだ」という。それから四十九年、家族と会うのもままならぬ外国人宣教師のような田原神父の司祭生活であった。

この日、田原神父は、金祝のミサを少し緊張した面持ちで司教の脇でささげていた。集まった二百人を超える信者たちも教区の基礎作りに尽力してきた「照れ屋で、朴訥でそれでいて温かい」神父の功績と長い歳月に精一杯の感謝の気持ちを表した。

田原神父に祝辞を述べた。田原神父に祝辞を述べたのは平三國さん(大熊小教区浦上教会)。神父の聖心教会在任の頃、同教会所属だった平さんは、自分の結婚や家族の洗礼からカトリックセンター建設に及ぶ神父の奮美大島での活躍ぶりを楽しいエピソードなど交えながら年を追って詳しく説明した。その後は司祭・修道者を代表して、聖心教会で田原神父のもとで助任として働いた郡山神父が祝辞を述べた【四面に掲載】。祝辞の後、教区をはじめ聖母幼稚園や兄弟、沢山の信徒たちから花束や感謝の品が

### 教区人事

田原 章神父  
垂水教会主任(鴨池教会主任)、聖母幼稚園園長兼任のまま垂水幼稚園園長

▼泉 浩二神父  
鴨池教会主任(南九州小神学院院長、垂水教会管理者)、聖母幼稚園副園長は留任。

訂正とお詫び  
先月の教区報(第四三七号)一面の「司教記者界島を訪問」の記事に一部事実誤認がありました。

以降も十二月まで不規則ながら月に数日はミサがあったことが現地からの修正で分りました。

なお、国際結婚は「二」家族でなく「十二」家族。  
以上、訂正し関係者の方々にお詫びいたします。(編集長)

「三か月間ミサがない」及び「昨年十月十四日以来の三か月ぶりのミサ」は誤りで、奄美に一時滞在した司祭方によつて十月十四日

主日のミサ参加について、鹿児島教区内の意識は、鹿島高まりつつありま...

信者の務め

教会の初めから、主の復活の日である日曜日に...

①みんなで神の言葉を聞き、信仰宣言と共同の祈りをもつてこれにこたえ、

聖体拝領の義務と勧告

生活の中でキリストを生き、その証人となるよう派遣されてきました。

聖体拝領の義務と勧告

聖体拝領はミサ参加を完成するもので、ミサの儀式全体がこれに向けられて...

【四旬節教書】

主日の務めと聖体拝領

鹿児島司教 糸永真一

代が訪れると、信者の間に主日のミサを怠る者が出てきました。

大祝日、あるいはもつと頻りに近づくことが勧められています。

も、定期的なゆるしの秘跡に近づくことが勧められています。

教会は、母の心をもつてすべての、そして一人ひとりの信者の救いを配慮します。

主日のミサにおいて、聖体を拝領しない信者がいても、これを奇異な目で見ないで自然に振る舞うことが大切です。

会と催し

(3月)

- 3日(月) 女性信徒の会主催読書会・カテドラル・10時
5日(水) 教区本部会議・司教館・10時
10日(月) 大口明光学園新校舎祝別式
21日(金) 末吉・石田助祭の司教叙階式・カテドラル・14時
29日(土) コンベンツアル会司教叙階式

祈りの意向

- 【教日程】3日女性信徒の会主催読書会、5日教区本部会議、10日大口明光学園新校舎祝別式(大口)、15日ザビエル教会黙想会、21日末吉・石田助祭の司教叙階式、29日コンベンツアル会司教叙階式(奄美大島)
【祈禱の使徒会】一般・救いの秘跡
布 教・アフリカの地方教会
日本の教会・世界の富の均衡
【十字架の使徒会】司祭の召命

春の中高生巡礼

「長崎・雲仙・島原の旅」
日程 三月二十六〜二十八日
対象 中高生(新中可) 参加費 一万五千円(遠方からの旅費は主催者側が負担します)
切 三月十九日 問い合わせ 南九州小神学院泉まで Ⅷ〇九八五(二七) 四六九五

黙想会のご案内

イエズスとともにいさせてもらう(イエズスとの関係を深めること)

Table with 2 columns: 日時 (Date/Time) and 場所 (Location). Includes dates like 3月15日 and 8月2日, and locations like キップス神父 and マリア山荘.

# 南九州小神今年度で閉鎖

## 神学生養成は継続

大分教区との共同経営で一九八六年四月に開校した南九州小神学院院長・泉浩「神父」は、この三月末で召命育成活動の使命を終えることになった。

宮崎市内の信徒・都成さんが経営する学生寮の三階を借りて始まってから十七年、翌一九八七年四月からは新たに建てられた現在の神学院に場所を移して養成活動を続けてきた。小神学院の土地と建物を得るために、教区負担分の約二億円を教区民の懸命な努力で

### 南九州小神学院の閉鎖に当たって

教区民の皆さま、この度、この三月末をもって南九州小神学院を閉鎖することになりました。皆さまに経済的、霊的に多大な御支援をいただき、行ってきた活動であることを思えば、それを十分に実らせることができなかったことをまず皆さまにお詫びしたいと思えます。また、これまで養成活動のために財政上の御協力とお祈りをいただき、感謝いたしております。

言うまでもなく、今後神学生養成そのものは続けられます。これから志願者ができれば長崎の神学院に送って養成することになります。教区にとっては司祭志願者養成は死活問題です。今後とも子供たちを将来の霊的奉仕者として捧げる勇気と財政的、霊的御支援とをお願い申し上げます。

二〇〇三年三月  
鹿兒島司教 糸永真一

### 兄弟的交わりを深める

#### キリスト教一致祈禱会

キリスト教の一致を願う祈禱集が一月二十六日(日)鴨池教会であり、約五十人のキリスト教の兄弟たちが参加した。

この日の祈禱会を司式したのは鹿兒島ハリストス教会(鹿兒島市平之町)の及川神父。及川神父はオーソドックス教会使用の典礼書などを使って、神と近づく術を分かりやすく解説した。祈禱会後は教会ホールで茶話会が開かれ、日頃、語り合うことのないカトリックとプロテスタントの兄弟たちが心を通わせた。

集めた記憶は未だに鮮明に残っている。

その後社会の激しい変化の中で神学生志願者を求める懸命な努力にも拘らず、

志願者は年を追って減少、ために様々な改革の努力も実らず、一昨年、大分・鹿兒島両教区の代表からなる同神学院運営委員会は三月にただひとり残る鮮畑くんが卒業するのを待って閉じることを決めていた。

運営委員会は、二月二十七日に財産処理を巡る最後の委員会を開いた後、

### 教区司祭大会

## 実践的課題を検討



叙階金祝を祝った。

研修テーマが日頃悩んでいる問題だけに終日熱心に話し合い、第一主題に関しては全体会での事柄とともに以下のような点が強調された。

①結婚問題で相談できる窓口、ないしグループを教区で考えたい  
②結婚に関する司祭たちはも

これまでの歴代院長や食事を世話したシスターたち他、お世話になった方々を招いて「感謝の夕べ」のひとときをもった。

今後も召命育成活動は続けるし神学生養成費の制度も継続する。ただ神学生志願者は長崎の神学院で養成を受けることになる。

### 短通信

#### カトリック鹿兒島連合壮年会

ここ数年、活動が活発になってきているカトリック鹿兒島連合壮年会では二月九日(日)ザビエル教会で黙想会を開催した。講師は永山幸弘神父。

永山神父は集まった壮年たちに、このほど教区が配付した「信徒のための信仰生活指針」をテキストに、修道者や司祭とは異なった方法で信徒が聖性に召されていることを具体例を交えて詳しく話した。

参加した壮年の一人は「解説を聞いて信者がどこで、どのように生きていけばよいかよく分かった。いい感想だった」と感想を述べた。

## 活発になってきた 青年達の活動 教会も公認して後押し

年が企画した野外ミサも、この活動の一環で行われたことは記憶に新しい。

現在青年連絡協議会では、青年達の交流・共同企画のための「ネットワークミーティング」(NWM)の開催や、インターネットによる青年達のネットワークの構築、ワールドユースデーやアジアユースデーなど海外活動への対応の検討などを行っている。

このような全国での青年達の活動が活発化してきていることで、鹿兒島教区でも青年達がその影響を受けているようだ。昨年の九月には鹿兒島でもNWMが開かれ、各地から青年が集まってそれぞれの青年活動の報告と問題点や悩みの分かち合いが行われた。その中で、青年としての小教区共同体とのかかわり方についても分ち合われた。今までの鹿兒島教区の青年会では小教区毎の集まりはなかったが、ザビエル小教区や川内小教区で独自の青年会が活動を始めていた。また、青年の有志による聖歌隊を結成したり、小教区でテゼの歌を取り入れた祈りの集いを行ったりしており、全国の青年達とのつながりに刺激を受けて、鹿兒島教区でも少しずつ青年活動が変化してきている。青年会全体での行事をキャンパスや黙想会やクリスマスミサ等に絞り、出来るだけ小教区との交わりや、

祈りや分かち合いを大切に活動を進めていくようにだ。

教区の青年担当司祭(泉浩二、フィリップ・レナト)間でもこのような青年達の活動や他の信徒からの要望を受けて、教会の青少年へのアプローチの仕方が改めて話し合われている。問題となっているのは中高生年代へのフォロー、世代間のつながり等。現在、中高生向けには「春の中高生巡礼」が行われているが、この巡礼の更なる充実と参加人数の確保や、他の企画などの検討も行われる予定である。また、青少年が継続して教会とのかかわり続けるよう、上下の繋がりに注目して対応していくことも検討されている。

このように、全国でも若い世代の活動が活発化してきているし、教区でも青少年への積極的な司牧が行われようとしている。四五〇年祭への決意表明の時から続く現在の青年活動の流れをよりよく活かし、教会の青少年が壮年世代になっても教会共同体として共に歩んでいけるように、教区の方々のお祈りとご理解ご協力・アドバイスをお願いしたい。(久保直基)

去る一月二十七日夕から三十日まで教区司祭大会がござし第一ホテルで開催された。参加者は司教を含め三十三人。

第一日は「結婚問題の司教的・実践的検討」、第二日は「信仰教育を教区でどう実践できるか」を、発題一分団会一全体会という要領で研修した。最終日にコンベンツの後、カテドラルに移動し田原師の司祭

つと積極的に教会の価値観と教を語る必要がある。

第二主題に関しては次の三点で合意した。①教区に専門のカテキスタが必要なので何とかしよう②教会学校のカリキュラムを作る。そのために作成チームを置き皆でサポートする③各小教区でも信仰教育の財政的基盤を予算に計上する努力をする。

困難な課題ではあるが

青年会ホームページができました。どうぞご利用ください。  
http://www.geocities.co.jp/HeardLand/Sakura/9279/  
お問い合わせはコチラ↓  
kagoxavi@poem.ocn.ne.jp  
青年聖歌隊(仮称)隊員募集  
中! (隊名も募集中) 月・木曜  
日午後七時からザビエル教会で  
活動中! お問い合わせは、教区  
本部青年担当まで。

